

令和2年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		6-	12
事業名	非常備消防経費	会計	款	項	目
		一般	9	1	2
施策	1 安全・安心なまち	課名	環境防災課		
	1-1 安全・安心のまちをつくる	係名	危機管理室		
	1-1-1 消防・防災対策の充実				
主要施策	⑤消防団の活性化				

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。
事業内容	常備消防との連携を図り、消防施設の整備・拡充を推進し、住民の生命・財産を守るとともに、火災の予防対策を充実し、安心・安全で災害に強いまちづくりを行う。 非常時に消防団が迅速に活動できるよう装備品の整備のほか、危険を伴う消防団活動に対する公務災害補償や的確かつ安全な行動ができるよう消防団員の研修を行うもの。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	消防団の訓練回数	24	24	24	回			24
2	消防団員数	94	92	94	人			98	
3									
4									
5									
			令和元年度 (決算)		令和2年度 (決算)		令和3年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			13,780		11,452		57,074		
財源内訳	直接事業費 A		12,256		9,928		55,412		
	うち一般財源		12,256		9,928		24,203		
人件費 (千円) B			1,524		1,524		1,662		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.22		1452		0.23		1,518
	臨時職員 (人・千円)		0.04		72		0.08		144

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R2年度の改善計画	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用した、消防ポンプ自動車の計画的な更新。	③取組の課題	消防資機材の整備拡充と計画的な更新が必要。
②R2年度に実施した取り組み	団員確保の対応として、出勤手当の支給及び訓練手当を増額するため条例改定の実施。	④今後の改善計画	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用した、消防ポンプ自動車の計画的な更新。